

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	5	金	8:15	12:00	五味ヶ谷市民の森	14名
活動名称	家族で楽しむタケノコ堀り体験会 その2					報告者：吉井 優	

1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っています。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ堀り体験会」です。子どもたちの笑顔があふれ親御さんからも好評をえています。

2、活動内容ほか

スタッフは8時に集合し、荷物をおろすと、タケノコ本数確認を行いました。竹林内に適正タケノコ10本、30cmを超えるタケノコ8本あり、瀧嶋さん敷地に孟宗タケノコ20本、真竹タケノコ10本を確認しました。参加者は35家族104名でした。食用のタケノコを調達すると、参加者分が確保できなくなる恐れがあるため、大名焼きを中止し、各自掘ったタケノコを持ち帰ることにしました。ひと家族1本だと、一瞬で体験終了の可能性もあるため、急遽竹細工の体験を追加しました。困った時の竹細工で一昨年もこの手を使い、参加者に満足してもらいました。スタッフは里山クラブ14名杉下支え合い協議会2名一二三富の会3名が参加しました。9時から受付を始め、9時15分からスタートセレモニーを開始し、3組に分かれ、市民の森の案内を行いました。10時ころからタケノコ掘りをスタートしました。参加者は、自分で掘るタケノコを選び、タケノコの周りを根元まで掘り進め、赤いブツブツが出たら、根元から切り取る作業を丁寧に体験しました。ひと段落したところで、竹細工を始め、11時ごろにイベント終了となりました。

3、評価：

昨年は豊作の年で、一家族数本掘り、大名焼きのタケノコも充分確保できました。今年是不作と盗掘が重なり、竹林のタケノコでは、イベントが成り立たない事態でしたが、瀧嶋さんの協力により、何とか一家族1本を掘り体験ができ、ことなきをえました。

このイベントは、とにかく人気があり、受付開始日4月16日には、4月22日と、5月5日の定員がいっぱいとなり、次の日から、ひたすら、「申し訳ありませんが、定員に達し、受付中止しております。」のお断りメールを送っていました。

それだけ人気があることもありますが、散歩している地域の方も、子どもたちが楽しみにしているイベントという認識をしているようで、盗掘する人に対し怒りの行動をとってくれている情報がありました。

4、課題

この体験会は、竹林整備の一環で、保存するタケノコを選別し、それ以外を駆除するためにタケノコを掘る体験ですが、今年は全て掘りつくすことになりました。

本来は健康な竹林を継続させるために、4月初期のタケノコは、親竹として残す必要がありますが、全て盗掘されてしまいました。4月後半から警察に見回りをお願いしました。見回り依頼をしてから、1週間で10本くらい盗掘されました。効果があったかどうか微妙です。交番に見回りのお礼に行き、来年は、4月初期から見回りをお願いしてきました。なん年か続ければ、盗掘している方にも見回りの情報が届き、盗掘が激減すると期待しています。

<里山参加会員>石黒、大森、柏木、小澤邦、風祭、小嶋、小澤弘
松井、石川、吉井、吉富、田中、上見 牛島

<活動写真>

